

試合番号 : 645	試合会場 : 酒田市国体記念体育館	観客数 : 670
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:29	試合時間 : 01:29
主審 : 赤川 孝義	副審 : 斎藤 隆介	
プレスステージ・インターナショナルアランマーレ 通算 2勝 0敗 ポイント : 5	25 第1セット 23 25 第2セット 22 25 第3セット 23 第4セット 第5セット	リガーレ仙台 通算 0勝 2敗 ポイント : 0
監督コメント ホーム2戦目、粘り強いリガーレ仙台との戦いとなりました。第1セット、相手の守りに対してスパイカーがよく考え明確な攻撃をしてくれました。相手の攻撃に対して自チームの守りがうまくいかず、苦しめられる場面もありましたが攻撃を押し、取り切ってくれました。やはり、ホーム戦はShipmateのご声援が力になります。次はアウェー戦になりますが、変らぬ熱いご声援をお願いします。	3	0
要約レポート ホームの開幕戦で連勝したいプレスステージ・インターナショナルアランマーレとシーズン初金星を飾りたいリガーレ仙台の一戦。第1セット、アランマーレが前田やメソマチの攻撃等でスタートダッシュに成功する。その後、仙台も宮田や江川の攻撃で猛追するが、アランマーレがそのまま逃げ切った。第2セット、序盤の競り合いから仙台が宮田と末永にトスを集めて抜け出す。しかし、アランマーレも伊藤のブロックや木村の攻撃で追撃し、終盤には逆転に成功。その後も攻撃の手を緩めないアランマーレが途中出場の柳沢のサービスエース等でリードを広げてセットを連取した。第3セット、後がない仙台は勢いを増すが、アランマーレも譲らない。仙台は宮田が要所で攻撃を決めると、アランマーレも前田の攻撃で応戦し一進一退の展開となる。終盤までもつれたこのセットは、アランマーレの木村が流れを引き込み、最後は伊藤が攻撃を決め勝利し、アランマーレがホーム開幕2連勝を飾った。		

試合番号 : 646	試合会場 : 酒田市国体記念体育館	観客数 : 380
開始時間 : 15:15	終了時間 : 16:34	試合時間 : 01:19
主審 : 伊藤 薫	副審 : 土屋 美紀	
群馬銀行グリーンウイングス 通算 2勝 0敗 ポイント : 6	25 第1セット 18 25 第2セット 18 25 第3セット 18 第4セット 第5セット	千葉エンゼルクロス 通算 0勝 2敗 ポイント : 1
監督コメント 本日もありがとうございます。強いサーブでコンプレックスを消さないよう、常にハードサーブを心がけました。ブロックが良い場面で決められたと思います。ラリー中において個人の決定力を上げることが課題となりましたが、次の試合に向け、選手たちと共に準備しチャレンジしてまいります。引き続き、応援よろしくお願いします。	3	0
要約レポート 開幕戦を勝利して、連勝で勢いに乗りたい群馬銀行グリーンウイングスと今季初勝利を目指す千葉エンゼルクロスの一戦。第1セット、お互い粘り強い守備から一進一退の攻防を繰り返す展開となったが、千葉のミスもあり、最後は伊藤の連続ブロックが決まり、群馬銀行がセットを先取した。第2セットも群馬銀行は白岩、伊藤の攻撃から得点を重ねる。千葉も森田(紫)、中島のスパイクなどで対抗し、中盤までもつれるが、終盤に藤井のサーブを起点に相手を崩し、5連続得点するなどして群馬銀行がセットを連取した。第3セット、千葉は石川、関根、中島などの絞らせない攻撃で、競り合いの展開に持ち込んだが、群馬銀行は藤井、白岩のレフトからの攻撃を軸に伊藤のブロックなどでリードを保ち、途中交代のハンタワアの4連続得点で追いつくが千葉を振り切り、開幕2連勝を飾った。		

試合番号 : 647	試合会場 : 上田市自然運動公園総合体育館	観客数 : 360
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:50	試合時間 : 01:50
主審 : 中島 俊昌	副審 : 北原 良太	
GSS東京サンビームズ 通算 0勝 2敗 ポイント : 0	20 第1セット 25 27 第2セット 25 19 第3セット 25 19 第4セット 25 第5セット	プレス浜松 通算 2勝 0敗 ポイント : 6
監督コメント 開幕週の連敗を阻止したかったのですが、各セット共、浜松に先行される苦しい戦いを強いられました。状況に応じて選手交代を試みましたが、及びませんでした。次週は軽井沢でのホームゲームとなるので、先ず1勝を上げられるように調整したいと思います。2日間にわたりご声援くださいました皆様、誠にありがとうございました。	1	3
要約レポート 開幕戦の逆転勝ちで勢いに乗るプレス浜松と、初勝利が欲しいGSS東京サンビームズの対戦。第1セット、序盤の点の取り合いを浜松は浅野のサービスエースと中野(樹)のスパイクで15-9と抜け出す。この後、GSS東京は色摩、張のスパイクで反撃し1点差に迫るが、中野(樹)が連続で強打を決めて浜松がセットを先取る。第2セット、浜松が中野(樹)のブロックとスパイクでリードを奪い、中盤ではGSS東京・色摩が決めるが、浜松も中野(樹)、水上が決めて差は縮まらず21-16と浜松がリードする。ここからGSS東京は張のクイックで反撃し、及川のブロックポイントで同点に追いつくと、最後は合屋のスパイクが決まりセットカウントを1-1のタイとする。第3セット序盤、若泉のライト攻撃が決まり浜松がリードする。中盤では中野(樹)の速攻とブロック、浅野のサービスエースで連続得点し、さらに点差を広げる。GSS東京も色摩、野嶋で対抗するが、終盤も浜松・若泉のライト攻撃が光り浜松がセットを取る。第4セット、後がないGSS東京は野嶋、リベロ畠山が粘りのレシーブを見せ食い下がるが、9-9から若泉のフェイントなどで浜松が連続得点し突き放す。GSS東京は野嶋のスパイクで追いつけるが、平井の巧みなトスから水上、アンドラデがスパイクを決めた浜松がセットカウント3-1で白熱した戦いに勝利した。		

試合番号 : 648	試合会場 : 上田市自然運動公園総合体育館	観客数 : 540
開始時間 : 15:00	終了時間 : 16:09	試合時間 : 01:09
主審 : 水間 絵美	副審 : 立花 法真沙	
ルートインホテルズブリリアントアリーズ 通算 2勝 0敗 ポイント : 6	25 第1セット 14 25 第2セット 17 25 第3セット 18 第4セット 第5セット	JAぎふリオーレーナ 通算 0勝 2敗 ポイント : 0
監督コメント ホームでの開幕戦、2勝できたことを皆様に感謝しています。選手はひとつひとつのプレーに集中し、ONE TEAMで戦ってくれました。次の試合まで少し空きますが、修正ポイントをしっかりと見つめなおし、備えたいと思います。ご声援ありがとうございました。	3	0
要約レポート ホームで連勝を狙うルートインホテルズブリリアントアリーズと、初勝利を目指すJAぎふリオーレーナの対戦。第1セット序盤、ルートインが村山のサービスエース、高澤のスパイクで連続得点し、さらに高澤とリベロ貝塚のファイトあふれるレシーブから山村ブロックとスパイクで18-6とルートインが大きくリードする。JAぎふも高石、山根のバックアタック、山本のスパイクで追いつけるが、平原が3本連続でスパイクを決めたルートインがセットを先取る。第2セット、立ち上がりは村山のスパイクが決まりルートインがリードする。JAぎふは皆川の移動攻撃、高石の強打で粘りを見せ、ルートインも小茂田のクイック、山村のスパイクで両チーム共に激しい攻防を繰り広げる。しかし点差は縮まらず、このセットもルートインがものにする。第3セットもルートインが村山、平原のスパイクで主導権を握る。JAぎふも皆川、山本のスパイクで反撃するが、最後はルートイン村山のこの日17本目のスパイクが決まり、ルートインが2日続きのストレート勝ちを収めた。		